

授業科目 地域理学療法評価学実習

【担当教員名】 牧田光代	対象学年	1 2 ③ 4	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

地域理学療法の担い手として、理学療法的視点のみならず、対象者の全体像を把握し、利用者のニーズを適切に理解する。福祉用具（車椅子を含む）の制度および機能を知り、さらに住宅改修の基本となる住宅の見方を学び、それらの組合せによる日常生活の改善方法を学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 利用者の物理的生活環境を評価できる。
2. ケアプランを立案できる。
3. 利用者に合わせて住宅改修および福祉用具を選択できる。
4. 利用者の総合評価ができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	実際の家屋について障害者を想定して評価する。	1	個別作業 牧田
2	障害者の地域生活を想定して生活環境を評価する。	1	グループ作業 牧田
3	個別作業の発表と討議	1	発表と討議 牧田
4	グループワークの発表と討議	2	発表と討議 牧田
5	ケアアセスメント評価の実際	2	個別作業 牧田
6	ケアプラン：利用者を想定して立案	2	グループ作業 牧田
7	ケアマネジメント、プランのまとめ	2	発表と討議 牧田
8	利用者を想定して住宅改修シミュレーション	3	個別作業 牧田
9	利用者を想定して住宅改修シミュレーション	3	グループ作業 牧田
10	利用者を想定して全体評価シミュレーション	3	グループ作業 牧田
11	利用者を想定して福祉用具選択	3	個別作業 牧田
12	利用者を想定して福祉用具選択	3	グループ作業 牧田
13	利用者を想定した全体評価シミュレーションの発表と討議	3	発表と討議 牧田
14	利用者を想定した全体評価シミュレーションの発表と討議	3	発表と討議 牧田

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	標準理学療法学：地域理学療法学、	牧田光代編	医学書院	2003年 4700円
参考書	訪問理学療法マニュアル	日本理学療法士協会	日本理学療法士協会	2002年 1500円
	ケアマネジメントマニュアル	日本理学療法士協会	日本理学療法士協会	2001年 1500円
その他の資料	事例でみる住宅改修の実際	野村歆監修	中央法規	3800円
	プリント配布			

【評価方法】

期末試験および討論会での発言内容、対象や対象評価内容を総合して評価する。

【履修上の留意点】

地域理学療法評価学と連動して講義・作業が行われる。